

京都〈ゆうゆうの里〉入居者インタビュー

50歳から始めた写真が生きがい！
—里には撮影スポットがいっぱい—

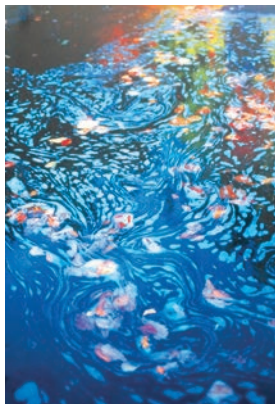
花岡 明恵様 (72歳)



今回は、入居されてまだ半年ですが、充実した毎日をご過ごされている花岡明恵様をご紹介します。

花の写真は寝転んで撮るの

「うわー、きれいな！」「ホントねえ！写真に見えないくらい。青い渦に引き込まれそうね。」昨年の文化祭でこんな声があちら、こちらから聞こえてきました。写真を展されたのは、花岡様です。



文化祭に出された溪流の渦

十年ほど前、東北であった「プロ写真家とのツアー」に参加した時、溪流に三脚を据えて渦がおこるチャンスを狙って撮った写真だそう

です。「写真を始めたのは、両親を見送った五十歳頃からだったかしら？最初は写真教室に通って、5年くらい基礎を学びました。それから、宇治の写真クラブに入っで、今度はデジカメを使い出したの。名前が花岡だから、なぜか花が好きでね。どうしてもきれいに撮れるようになりたかったの。その為に、花の蕊にピントを合わせて花と平行になるように、寝転んで撮ったりしてるのよ（笑）。」

ブログで癒しを発信

「アナログのカメラから、デジカメに変えたら、今度は写真を保存するのにパソコンが欲しくなり、60歳からブログも始めました。意外と簡単に出来るんですよ。写真のツアーに出かけて撮った作品や、通りかかりに見つけた

小さな花、自然の美しさをブログを通して皆に見てもらいたい、見た人の癒しになればと思い、発信しています。見た人からホッとするわとコメントをいただく、嬉しくなります。」と、目を輝かせて話される花岡様。今も里での生活や日々の出来事を綴っていらっしやいます。ブログの名前は「花遍路」。お花を愛する花岡様らしい素敵な名前です。

フラワースペース「花遍路」

<http://25protok2.com/~hanahenro>
(ブログアドレス参照下さい)



花岡様のブログ
(クリックすると壁紙に出来る)

やっぱり宇治が好き

「私は東京生まれですが、夫の転勤を機に宇治に引越してきました。3年前に夫が亡くなってそ

の頃から急に体調を崩し、このまま一人で暮らすのが不安になってきたんです。たまたま新聞で見つけたシニアマンションに静養室が付いていたので、知らない土地だけど思い切って引越したんです。でもね、そこには介護の設備がなかった。住んでから気が付いたの。それで慌てて介護付の施設をネットで探したら、宇治にこんな良いところがあるじゃないって！実はついふん前に里は見学してたけど、その時は若いし、参考程度にしかなってなかったのね。今になって思い出したのよ。しかも里の中には撮影スポットがいっぱいあって、感激しました。入居してからわかったことだけど、宇治の写真クラブの仲間が里の職員さんだったり。担当の募集職員さんも顔見知りの方だとわかったの。ここにいると、古巣の宇治に帰ってきたんだなど、落ち着くんですよ（笑）。」

いつまでもお元気で、里での生活を満喫していただきたいと願っております。